

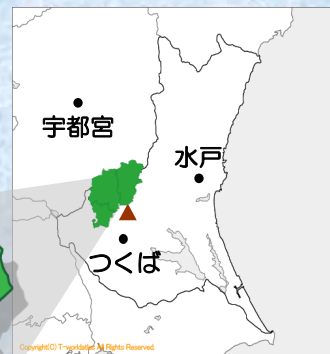
筑西地域の特産物紹介

- ・米
- ・小麦・大麦
- ・大豆
- ・そば
- ・冬どりレタス（銘柄推進産地）
- ・梨（銘柄産地）
- ・こだまスイカ（銘柄産地）
- ・キュウリ（銘柄産地）
- ・コギク（銘柄産地）
- ・いちご（銘柄推進産地）
- ・夏秋トマト（銘柄推進産地）
- ・ニラ（銘柄推進産地）
- ・大玉スイカ（銘柄推進産地）
- ・ネギ（銘柄推進産地）

・・・さまざまな農産物がつくられています！

米・麦・大豆（全域）

筑西管内は関東有数の穀倉地帯で経営耕地面積は約14,640ha(2020年)です。米の生産量が県内トップクラスであるほか、管内の麦類大豆は県の生産量の約5割を占めています。



筑西市

いちご（筑西市）

筑西市では下館地区を中心にいちご栽培が盛んであり、銘柄推進産地に指定されています。



桜川市

トマト（筑西市・桜川市）

主に筑西市から桜川市にかけて栽培されています。こだまスイカとの輪作体系がおこなわれるため、夏秋トマトが多いです。

梨（筑西市・下妻市）

筑西市及び下妻市は県全体の梨栽培面積の約4割を占める大産地です。（2020年農林業センサス「販売目的の果樹類の栽培面積」）主力品種の『幸水』『豊水』『あきづき』『新高』のほか、茨城県育成品種の『恵水』の栽培も広がっています。

こだまスイカ（筑西市・桜川市）



筑西市の協和地区から桜川市にかけて広がるこだまスイカは全国一の規模の産地です。銘柄産地に指定され3月～7月頃にかけて出荷されています。この全国一の産地を維持発展していくために「こだまスイカ産地活性化連絡協議会」が組織され、様々なPR活動や技術の検討を行っています。

下妻市

